

田中地区地域づくりの会

地域づくりの方針

1. 田中地区のつながりを大切にして、住民・区・各種団体がそれぞれに自らできることを実践し、不足するものについては周囲と助け合える関係性をつくります。
2. 田中駅周辺・海野宿・東御市の中心部として充実している社会インフラといった地域資源を有効活用し、産業を元気にするとともに、地域交流や地域教育にも活かします。
3. 親・子・孫世代、近隣住民が触れ合う中で、田中地区の魅力や引き継がれてきた価値観をコミュニティの中で共有します。
4. 最終的には、田中地区の確かな基盤のある暮らしを維持・発展させ、若い世代が戻る、あるいは入ってくる地域をつくります。

令和4年度の事業について

今年度も、コロナ禍に翻弄された一年でした。

しかしながら地域の祭りなどもだんだんと動き出してきたかのよう感じられます。

田中地区地域づくりの会の事業は中止や規模縮小の事業もありましたが、前年度より少し前進して実施できたのではないかと思います。

地域づくりの一番の方針は田中地区のつながりを大切にして、住民・区・各種団体・学校等がそれぞれ自らできることを実践して、不足するものについては連携して周囲と助けあい進めていくことです。

そして、誰にもその事業に参加して喜んでいただくためにも、事業内容も過去にとらわれることなく、時代の流れをよく見据えて時には再考していくことも重要な部分であると思います。

現在も新型コロナウイルス感染症への注意を怠れない状況下ではありますが、来年度は、ウィズコロナで慎重に進めつつも、もつと事業の充実を目標に進めてまいります。

地域の皆様、ぜひ積極的なご参加、ご協力、そしてご意見もお聞かせください。

令和4年度に実施した事業

7/24(日)	地域防災と災害時の取組み学習会	10/29(土)	田中まちなかハロウィン(一般の日)
10/1(土)	ふるさと散策～西海野をまなぶ～	10/31(月)	// (保育園の日)
10/4(火)	田中地区地域づくり懇談会	12/17(土)	田中地区空き家セミナー&相談会
10/27(木)	田中地区の健康状況を学ぶ学習会	R5.1/1(日)	元旦ウォーキング
11/5(土)	田中っ子フェス2022	1/24(火)	田中地区公共交通説明会



3年ぶりの田中まちなかハロウィン(一般の日)
大勢の皆さんにお越しいただき盛大に開催できました



田中地区ふるさと散策 ～西海野をまなぶ～

ふるさと散策が、今年度は西海野区で10月1日(土)開催され、晴れて暑さも残る中、40名あまりの参加がありました。

市文化財専門員の堀田講師の説明で、心光寺・足穂神社・中曽根親王塚古墳・道祖神・住吉神社・(自由参加で関筑前守の碑)を巡りました。

中曽根親王塚については、方墳としては東日本で2番目、国内では13番目の大きさを誇るということ。また、昔は西海野一帯には大変大きな寺院があった等、聞けば聞くほど奥が深く、「そうだったのか」と知ったことで歴史の入口に触れ、地元田中地区のロマンを感じる事ができた散策でした。

(生涯学習部会)



足穂神社。西海野の成り立ちの基にもなった。



晴天のもと、中曽根親王塚古墳の頂上で講師の説明を聞いた。
東日本屈指の古墳を学び、改めて地域の宝を見直した。



心光寺にて。普段は入れない堂内を見学

田中っ子フェス2022

コロナ禍で各種イベントが中止になる中、11月5日に田中っ子フェスが開催されました。昨年に引き続き、ボーリング・輪投げ・○×クイズなどが行われ、新しく逃走中という鬼ごっこも増えて大人気でした。

今年300人の子供が参加した大イベントとなりました。地域づくりの会は、射的ブースを担当し児童と一日楽しい時を過ごしました。射的は、割箸鉄砲で点数の書いてある箱の標的を倒し合計点を競うゲームです。鉄砲の調整と箱の倒し方がポイントの競技で、多くの児童に楽しんでもらえたと思います。また割箸鉄砲の製作も人気で、自分で作る楽しさを求めている子供が多いと感じました。次回は射的ゲームと鉄砲製作を二つのブースにしたいと思えます。来年もコロナとの共存を考へながら、出来る限り各種イベントを行えたらと思えます。

(青少年育成部会)



割箸鉄砲を自分で作ってみたよ



狙って狙って～、めざせ最高得点!



田中地区地域づくり懇談会

地域づくり懇談会を当会・市・区長会の共催で10月4日に行いました。

市長を始めとする東御市職員、地域づくりの会、地区区長、関係者が参加し、左記のテーマを中心に様々な意見が交わされました。

【地域ビジョン実現のための要望】

●空き家対策・地域で空き家の利活用
(現在田中地区に約1100件あり)

- ・高齢者の憩いの場やたまり場をつくる。
- ・子どもから大人まで誰もが自由に集まれる拠点をつくる。

●田中商店街、田中駅の賑わいの再興

- ・関係団体が一体となったイベントの創設、実施。
- ・フリーマーケットなど、商店街を歩いてもらうイベントの実施。

●海野宿と田中商店街の連携

- ・海野宿と田中商店街が連携したイベントの実施。

【令和4年度市政、施策等に対する要望】

●定額交付金の創設

- ・区の規模に応じた一定額「交付金」を例年交付してその予算で柔軟に地元での対応を行いたい。

●区役員業務及び団体各種会議の見直し

(地域づくり推進部会)



地域防災と災害時の取組み学習会

7月24日、東御市消防団小林分団長をはじめ団役員の方から、「地域防災と災害時の対応」と題して、災害時における消防団の取組みや体験談についてお話をいただきました。

特に令和元年台風19号災害で、中小河川や千曲川の増水により、田中橋や海野宿橋の崩落、ガスパイプラインの損壊等の甚大な被害がおこり、降りしきる雨の中、団員が情報収集や地域との連絡調整また住民避難を行なったことについて、写真を交えて分かり易く説明していただきました。

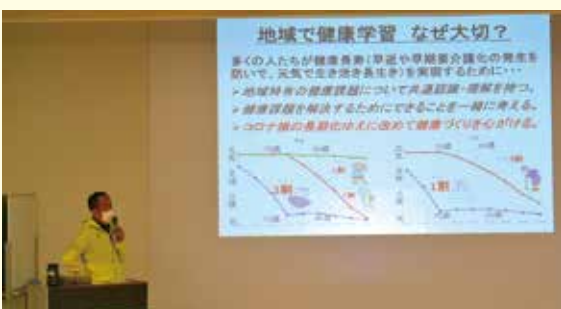
緊急時は、目先の事だけに集中しがちですが、災害対応には知識や経験に加え、地域との連携が大事であることを再認識し、また消防団員の常日頃の活動状況や実態を知ったことで、改めて感謝をしたところ。近年は地球規模で災害が起きています。自分の身は自分で守ると同時に近隣との絆を大事にしていきたいと痛感しました。(生活福祉部会)

田中地区の健康状況を学ぶ学習会

10月27日、身体教育医学研究所の岡田所長から、コロナ禍に負けない健康づくりと生活習慣病について、また、田中地区の各種検診データ等から地域特有の健康課題についてお話をいただき、日々の暮らしを振り返る良いきっかけとすることができました。

特に近年はコロナ禍で気付かぬ内に体を動かす機会が減り、健康二次被害が増えて血糖値や脂質が上がりやすいリスクが出ている現状もお話しいただきました。

田中地区の特徴としては、他と比べ高血糖・高中性脂肪で要注意の人が多く反面、外来受診で早期治療をしている方も少なくない現状とのことでした。健康を維持していくには普段の心掛けと行動が大切なため、多くの皆さんに学習会に参加して知っていただきたいと思いました。(生活福祉部会)



自宅でスマホを見ながらできる体操を体験

笑顔がいっぱい



3年ぶりの「田中まちなかハロウィン」を、一般の日を10月29日（土）に、31日（月）に保育園の日として田中商店街で行いました。当日29日には、大勢の子供たちが元気に「トリックオア トリート」と合言葉を言いながらお店でお菓子をもらって歩きました。受付した子供は約650人、家族も含めると1000人以上の来場者があり、また、ゆうふる田中でもハロウィンイベントが同時開催され、商店街も駅前も大変賑わい

田中まちなかハロウィン

ました。

31日には、例年同様、田中保育園児約200人が、笑顔でお菓子をもらいながら商店街を散歩しました。両日とも、子供たちに大人気のパンプキンマンが登場し、大いにイベントを盛り上げてくれました。今後田中商店街の賑わいづくりと活性化につながるイベントとして定着していくことを願っています。

（産業観光部会）



元日ウォーキング

令和五年元日に、恒例の「元日ウォーキング」を開催しました。マラソンは残念ながらコロナ禍のため今回もやむなく中止でした。

当日はご家族で参加された方も多く、100名もの皆さんが、田中公民館と縣諏訪神社を往復する約2.5キロのコースを歩きました。冷え込んだ朝でしたが新春の青空の下、元気にスタートし、神社ではミカンでひと休みされた後、田中公民館前に到着すると、皆さん元気にゴールテープをきる笑顔が印象的でした。

参加者には、お正月祝いとして鳥の子餅等が振舞われました。

皆さんの一年が良き年となることをお祈りしております。（生涯学習部会）



来年度に向けて

地域づくりの会は、田中地区全体をつなぎ皆で盛り上げていきましょうと、皆様のお力をお借りして活動しています。

コロナが一段落しつつあります。子供たちが楽しみにしている魚つかみや餅つき大会の復活を期待し、更に多くの地域の皆様が事業にご参加くださるようお願いいたします。



編集後記

元日ウォーキング。ピリピリする寒さの中に、「おめでとうございます」の声飛び交います。家族で、ご夫婦で、グループで一年のスタートをここで迎える方々の笑顔。来年はマラソンも実施でき、もっともっとたくさんの笑顔が集うことを願っています。

地域づくり推進部会 栗原

田中地区地域づくりの会事務局
中央公民館

電話 75-5506